

# おおいた 法の海

第 51 号  
発行所  
浄土真宗本願寺派  
大分教区基幹運動推進委員会  
〒874-0920 別府市北浜3丁目6-36  
本願寺別府別院内  
TEL 0977-22-0146  
FAX 0977-24-7831



新門様 大分教区巡回並びに別院ご巡拝 (本願寺別府別院)

## おかげさま

秋はお彼岸、稲刈り、運動会、敬老会、秋祭り等行事がめじる押しです。私たちはつい「忙しい」ということを口にします。心を滅ぼすとか心を亡くすという事です。自己中心にしか見るこゝとが出来ず、周りの人々がどのようにかわりをもつて接し支えて下さっているかさえ見失ってしまいます。さらに私のいのちの「因(もと)」を訪ねる心も忘れてしまいます。私のいのちは十代さかのぼれば二十四人もいのちの連続と育みの中にあり、もっと先を訪ねれば過去無量のいのちの不思議に気づきます。又、家族や職場、地域社会の人々、衣食住のすべて、悩みや苦しみに寄り添って下さる沢山の人のいのちによって支えられてある事実気づかされます。

このような私の無明の姿の中に、見失い忘れかけていたすべてのいのちに目覚めよ、とはたらきかけて下さる阿弥陀さまの呼び声でありました。

縁起の法に目覚めさせられるという事は、感謝できる人間にお育てをいただく事です。「忙しい、この口から「ありがとう・おかげさま」「南無阿弥陀仏」のことがでて下さる。

阿弥陀さまお慈悲のはたらきでありました。

(大野組尊形寺住職 流 宗哲)



某月某日、某寺にて。

A子 御院家さん、こんにちは。昨日の入仏式にはお参りいただいてありがとうございました。  
住職 こちらこそ、お世話になりました。

A子 新しいご本尊を「ご安置して、仏間全体が引き締まったよくな気がします。」

ところで、我が家のご本尊は阿弥陀様の絵が描かれたご本尊ですが、お隣の家のご本尊は無阿弥陀仏の文字が書かれたご本尊でした。ご本尊にもいろいろ種類があるんですか。

### 名号の働きを 表すご本尊

住職 阿弥陀如来は「南無阿弥陀仏」のお名号として私に聞こえる仏さまになってくださいました。ですから文字で「南無阿弥陀仏」と書かれた名号本尊があります。またA子さんのおうちのご本尊のように、その阿弥陀如来のお徳を絵に描き表したご絵像のご本尊もありますし、

お寺の本堂にご安置されている仏様のお姿を形取ったお木像もありません。

A子 お木像の方がありがたいような感じがしますが。

住職 本願寺第八代の蓮如上人は「当流には、木像よりは絵像、絵像よりは名号」とおっしゃっ

きが伝わりにくいので、絵像や木像に表すこともあるということです。

A子 ならばお寺の本堂も名号で良いのではないですか。

住職 かつては木像をご安置しないと寺院として認められなかつたという時代的な制約もあって、

## ペンペン草の境内地 ②5立ち姿のご本尊



ています。

A子 どういうことでしょうか。

住職 浄土真宗においては、さとのりの働きが「南無阿弥陀仏」の名号となつて私に届いてくださっていると考えますので、名号本尊で良いのです。しかし、凡夫には名号だけでは仏様の働

お寺の場合にはお木像をご安置することになったようです。

### 立ち姿のご本尊

A子 なるほど。ところで、平等院鳳凰堂の阿弥陀様や鎌倉の大仏は座つた仏様なのに、浄土

真宗のご本尊は絵像も木像も立ち姿ですね。

住職 良いところに気づかれましたね。立つておられるご本尊というのは、如来の活動相を表すのです。仏に成る能力もなく修行もできない、お浄土がどこにあるかも知らない私に向かつて、放つてはおけないと立ち上がつて来てくださつておられる名号の働きは、立像、立ち上がった姿でしか表せなかつたということです。

A子 お浄土にじつと座つて「ごまでおいで」と待つておられる仏様ではないということですね。

住職 そつです。立ち上がった救い取ろうと働いておられるので、立撮即行のお姿とも言われます。上げた右手は真実の世界にかえつてこいよと喚ぶ「招喚」のお心を表し、下げた左手は漏らすことなく必ず救つという「撰取」のお心を示しているとも言われます。形あるご本尊に手を合わせる生活を通して、本

当に尊い如来のはたらきを味わわせていただきますよ。

## 掲示伝道

町角伝道掲示板

【大海組 円光寺】



三十年前仏教壮年会の活動で始めた掲示伝道ですが、風雨で掲示板が傷み、昨年七月ご門徒衆に新しく掲示板を作り直してもらい、お寺の周りの町角十五か所に設置して掲示伝道を行っています。

毎月ご門徒さんに言葉を書いていただきます。ご門徒皆さんと共に、何もかも一から手作りの活動です。「掲示板の言葉をみて、心がいやされます」と言われる地域の方の声を励みに、これからも続けていきます。

# 親鸞聖人の御言葉を聞く

中津組 昭雲寺 松嶋 智 謙



## 死の縁無量なり

よく「死ぬときは楽に死にたい」とか「病床で長いこと苦しむのは嫌だからポツクリ逝きたい」ということを言う人が居られます。また、他人の死に様を見て「あんな死に方をしたならきつと未練も多かるつ」とか「善い人だったのに何故あんな死に方をしなければならぬのだらう」と言う人も居ます。老衰・病氣・事故等々「死の縁は無量」と言われるように人の死に様は色々です。ただ、それらは死の「縁」ではあっても、死の「因」では無いことにお気付きでしょうか。お医者様の死亡診断書には「死因」という項目があるかも知れませんが、仏法の上で言えばそれは死因ではなく「死亡という事態に至った縁」に過ぎません。そして仏法の上

で死因というのは「迷いの世界に生まれる」事を言うのです。そして死の先に何の目的も持たず全てを失う中に有りながら、死に様の善し悪しを問いつら、結局は迷いの中で死んでいくしかない人生を、空虚しい人生と申します。

先の『ご消息』の文の前段には、「去年、今年と老若男女を問わず、多くの人が天災や飢饉で亡くなられました。誠に悲しいことです。」というお話が著されています。この当ても、やはり死に様の善し悪しに囚われる人が多かったのでありましよう。その上で書かれたのが冒頭で紹介申し上げた御言葉であり、これは聖人御自身の御領解を述べられているだけでなく、手紙

を死てられた乗信房の周囲の人々に対して、「人の死に様だけを見て人生の善し悪しを見ることへの御論しも込められている様であります。

## 臨終の善悪をばまふさず

ばまふさず

親鸞聖人は「愚痴無智の人も

をはりもめでたく候へ」と仰せ

られました。私は「をはりは」

ではなく「をはりも」とさ

れているところを殊更有り難く

感じます。愚痴無智の身のまま

変わりようのない私のところに

今既に阿弥陀様によって届けら

れているお浄土参り間違いなし

の浄土往生お念仏の道。この道

は、死に様が善くなる道でもな

ければ死んだ後に届く道でもあ

りません。今此処に生きる私の

人生を「めでたき」人生である

と、「今」お聞かせに預かり、阿

弥陀様の御手の中に娑婆の縁尽

きるまで私の生死を貫いて精一

杯生き抜く道なのです。

正定聚＝必ず浄土に往生して成

仏するに間違いのない位に定まる

『ご消息』に「まつ善信(親鸞聖人)が身には、臨終の善悪をばまふさず、信心決定のひとは、うたがひなければ、正定聚に住することにて候なり。さればこそ愚痴無智の人も、をはりもめでたく候へ。如来の御はからひにて往生するよし。ひとびとにまふされ候ける、すこしもたがはず候なり。」

という御言葉が著されており

ます。親鸞聖人ご往生の二年ほ

ど前の八十八歳の時に、関東

(常陸)の乗信房というお弟子

に死てた御筆であります。

よく「死ぬときは楽に死にたい」とか「病床で長いこと苦しむのは嫌だからポツクリ逝きたい」ということを言う人が居られます。また、他人の死に様を見て「あんな死に方をしたならきつと未練も多かるつ」とか「善い人だったのに何故あんな死に方をしなければならぬのだらう」と言う人も居ます。老衰・病氣・事故等々「死の縁は無量」と言われるように人の死に様は色々です。ただ、それらは死の「縁」ではあっても、死の「因」では無いことにお気付きでしょうか。お医者様の死亡診断書には「死因」という項目があるかも知れませんが、仏法の上で言えばそれは死因ではなく「死亡という事態に至った縁」に過ぎません。そして仏法の上

先の『ご消息』の文の前段には、「去年、今年と老若男女を問わず、多くの人が天災や飢饉で亡くなられました。誠に悲しいことです。」というお話が著されています。この当ても、やはり死に様の善し悪しに囚われる人が多かったのでありましよう。その上で書かれたのが冒頭で紹介申し上げた御言葉であり、これは聖人御自身の御領解を述べられているだけでなく、手紙

七高僧のお一人天親菩薩は、「仏の本願力を観するに、遇うて空しく過ぐる者なし」と仰せられ親鸞聖人もこの御言葉を「高僧和讃」「一念多念証文類」等で意訳御讃嘆しておられます。阿弥陀様が今のこの身のままです。私の「いのち」を既に損め取つて下さっているのですから、何時何処でどんな有様で死する人生であつたとしても、阿弥陀様が私を必ず浄土に参らせ仏に仕上げる誓われた尊い人生であり、阿弥陀様が御智慧と御慈悲によつて「精一杯に生きた人生でしたね」と抱いて下さる人生です。聖人の「臨終の善悪をばまふさず」との仰せは、死に様

がどうであろうが、そうしたこ



天親菩薩

## 法 話

### 『俱会一処の願い』

大海組 妙蓮寺 蓮谷 啓介



ました。しかし、お義母さんに  
対しては「本当のお母さんじゃ  
ない」という気持ちの心のごこ  
かにたえずあったと言われます。  
そんな頃、戦争でお父さんと  
お兄さんを一度に亡くされます。  
するとお義母さんは毎日お仏壇  
の前で涙ながらに「ご主人や息子  
さんの名前を叫び続けられたそ  
うです。辛いお話ですが、おば  
あさんはそのお姿を見るとき  
「本当のお母さん」と素直に思  
えたのだとお話下さいました。  
それは、お義母さんは息子さ  
んが死してなお、親であること  
を辞めなかったということ。  
もしも、先だった子どもを自分  
の本当の息子ではなかったと思  
うことができたなら、少しは悲  
しみが和らいだのかもしれませ  
ん。でも、お義母さんは息子さ

最近、『歎異抄』の関西弁訳  
が出版されたらしい。「善(え)  
え奴(やつ)が往生するんやさ  
かい、ましてや悪い奴がそう  
らんはずがない」という調子で  
訳されているそうです。内容と  
しては、他力本願が「ひとまか  
せ」と訳されているなど、直接  
お薦めできるものではなさそ  
うな感じがします。

### あとがき

しかし、『歎異抄』はもとも  
と、親鸞聖人の言葉を著者が思  
い出して書き留めた物ですから  
現代の我々にわかる話し言葉で  
示すことには大いに意味がある  
ような気がします。試みに大分  
弁ならどうなるのか……。

「善人てん往生でけるつちゆ  
うに、悪人が往生でけんちゅう  
よつな馬鹿なことがあるうか。  
それやに、世の中ん衆(し)は  
てえげえ、こげえ言つんで。悪  
人てん往生でけるんじやけん、  
善人は往生でけるに決まつちよ  
んじやねえかえつち。」いかが  
ですか。



仏説阿弥陀經に「俱会一処」とい  
うお言葉があります。それは  
はお浄土で仏様と相成つての再  
会とはたらきを期するお言葉で  
ありました。それを親鸞聖人は  
御門弟へのお手紙の中で「かな  
らずかならず一つところへまゐ  
りあふべく候ふ」とお示しくだ  
さいました。臨終の間際でなく  
今ここで「かならず」と言い切  
られるのは、すでに阿弥陀様と  
ご一緒であることの大きな安心  
と慶びからです。

ところが、私たちは時に「あ  
の人とはお浄土でも会いたくな  
い」という思いを持ってしま  
います。また、家族であっても血  
縁関係などを持ち出しては「同  
じところには行きたくない」と  
も良く聞く話です。  
本当の親子

あるご門徒さままで90歳になる  
おばあさんがおられます。この  
方は実のお母さんが早くに先立  
たれ、お兄さんと共にお父さん  
と後妻のお義母さんに育てられ

た。でも、お義母さんは息子さ  
んが死してなお、親であることを  
を辞めなかったということ。  
もしも、先だった子どもを自分  
の本当の息子ではなかったと思  
うことができたなら、少しは悲  
しみが和らいだのかもしれませ  
ん。でも、お義母さんは息子さ

親鸞聖人は南無阿弥陀仏を  
「まかせよ、必ず救つ」という  
阿弥陀様のお喚び声と教えて下  
さいました。それは親がいつも  
離れずにいることを子に告げる  
名のりでもあります。  
しかし、本来の私は阿弥陀様  
を本当の親さまと仰ぐ心を持ち  
合わせていませんでした。また、  
家族であつても「所詮他人だか  
ら」と俱会一処を本当に願つこ  
とはなかつたのかもしれません。  
ところが、阿弥陀様はその私を  
今も昔も変わらずに「我が子」  
と喚んで下さいます。背く私を  
放っておけないと初めから自当  
てにし、決して親であることを  
辞めず、あきらめず、「仏と成  
して俱会一処せずにはおかない」と  
常に喚び通して下さつたの  
です。  
その不変の願いに気づかされ  
るとき、私がいづいかなる時で  
あつても「かならず」と領ける  
お救いが、今ここに定まるのだ  
とお聞かせにあずかります。